



■今月の表紙

奈良県 MICE ブランドロゴマーク制定 Nara. Japan's Cradle of Wisdom

世界遺産に囲まれる「古都・奈良」。4月には、県庁観光局内に MICE 推進室の新設、奈良県コンベンションセンターも開業するなど、MICE への取り組みを加速させる奈良県は、MICE 開催地としての価値を表現する MICE ブランドを発表した。

タグラインは「Nara. Japan's Cradle of Wisdom (奈良-知恵を生み育む日本のまほろば)」。「今日に至るまで日本の国家の基礎や、歴史・文化の礎が築かれた『日本のはじまり』として知られる「奈良」。その歴史は1300年以上にも及び、現代にまで受け継がれている正倉院宝物や多くの社寺、伝統芸能などに代表されるように、先人の知恵や古代の知恵を守り続けた地。また奈良を育ててきた歴史や文化、信仰、自然は、奈良の懐の深さを生み出す要素となり、あらゆる時代において人々にさまざまな英知やインスピレーションを与え、多くの人の心を魅了してきた。「日本のはじまりの地」であり、「古(いにしえ)の知恵」が現代に息づく日本で唯一無二な特徴を持つ奈良は、過去から今に至る歴史を活かし、MICE 開催地として新たな歴史と未来を創造する場所となることをめざすことが、ブランドコンセプトに込められている。

ロゴマークは奈良のシンボルであり、外国人からも馴染み深い、日本の天然記念物「奈良の鹿」をモチーフとする。現存最古の歌集「万葉集」にも多くの歌が詠まれる鹿は、奈良の歴史を見守り続けてきた証人。そんな古から人々に親しまれてきた鹿をデザインしたロゴマークには、世界中から愛される MICE 開催地への思いも込められている。またシルクロードから伝わったとされる唐草模様の伸びゆくさまを模した鹿の角は、人と人の出会いによるビジネスの広がりを感させる。

4 ● 視点 / リスクに思う

6 ● レポート / 「リゾート×IT」をコンセプトにした

ResorTech Okinawa おきなわ国際IT見本市

観光産業と情報通信関連産業の活力を成長エンジンに

産業発展と豊かな地域社会の実現を目的に開催

10 ● 寄稿 / TCEB (Thailand Convention Exhibition Bureau)

JAPAN Road Show 2020

(株)JTB総合研究所 交流戦略部 MICE戦略室 主席研究員 小島 規美江 氏

12 ● 取材 / 北関東最大級の10,000㎡の展示ホールと20,000㎡超の屋外展示場

最大17室の会議施設を一体化したコンベンション施設

「Gメッセ群馬」高崎駅東口に4月オープン!

15 ● レポート / MICEコンテンツが集積する魅力ある三浦半島を巡る

「三浦半島MICEトライアルツアー」参加レポート

19 ● 寄稿 / 帆船航行の仕組みと海のルールを学ぶ

注目のチームビルディングプログラム

横浜港から目的地までの航路を全員の力を結集して航行

DMC Greater Yokohama がグローバル人材育成推進機構と共同開発

(株)DMC Greater Yokohama 代表取締役社長 徳田 博之 氏

20 ● 取材 / 新型コロナウイルス感染症対応 日本展示会協会が基本方針を発表

22 ● 連載 / 展示会マーケティング戦略セミ ～ 出展成果最大化の現場から～

「展示会とは・来場者とは何か」3)

「展示会来場者マーケティング」⑬ 施策の〈表情〉について その36

展示会研究所 代表 辻井 勝 氏

24 ● 連載 誌上タイムトラベル体験ツアー / 明治から昭和

桜田濠～半蔵濠～千鳥ヶ淵～九段 Part 1

二松学舎大学 非常勤講師 宮地 克昌 氏

26 ● 連載 Meetings Imagined / はい、チーズ! 映えるチームビルディング

マリオット・インターナショナル 日本グローバルオフィス

セールスマネージャー 田巻 絢子 氏

27 ● DMC通信 / サバの散歩 28 ● MICE映画館 46 ● トピックス

29 ● 全国会場別MICEスケジュール